

令和8年度 江戸川区立篠崎第五小学校 第1学年算数科 評価規準

● なかよしあつまれ	
◆単元の目標と評価規準	
ものもとのとを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)】	
	・ものもとのとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。<知・技>
	・観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。<思・判・表>
	・数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

1 いくつか	
◆単元の目標と評価規準	
○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)】	
	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。<知・技>
	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
	・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

2 なんばんめ	
◆単元の目標と評価規準	
○集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)、B(1)ア(ウ)】	
	・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。<知・技>
	・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
	・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

3 いまなんじ	
◆単元の目標と評価規準	
○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	
	・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>
	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>
	・時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

4 いくつといくつ	
◆単元の目標と評価規準	
○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)】	
	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができる。<知・技>
	・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。<思・判・表>
	・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

5 ぜんぶでいくつ	
◆単元の目標と評価規準	
○加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	
	・加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。<知・技>
	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
	・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

6 のこりはいくつ	
◆単元の目標と評価規準	
○減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	
	・減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。<知・技>
	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
	・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

■ いったりきたり

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
6 8		①数の大小の比較及び減法の計算に習熟する。	・数の大小を比較したり、減法を用いたりして、数カードを使ったすごろくゲームをする。	・10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。	

7 どれだけおおい

◆単元の目標と評価規準					
○減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】					
・減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>					
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>					
・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>					

■ さんすうなつやすみ

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
7 5		①加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	・夏休みに関する場面絵をもとに、加法、減法の問題に取り組む。	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	

8 10より大きいかず

◆単元の目標と評価規準					
○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】					
・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。<知・技>					
・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>					
・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>					

9 かずをせいりして

◆単元の目標と評価規準					
○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。また、データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えたり、身のまわりの事象の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】					
・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。<知・技>					
・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。<思・判・表>					
・数量の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>					

10 かたちあそび

◆単元の目標と評価規準					
○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】					
・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>					
・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの形の特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>					
・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>					

■ こうていでさんすう

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
---	----------	----	------	-------	----------

1 0 2	①加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	・校庭の場面絵をもとに、加法、減法の問題に取り組む。	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。
-------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------------------

11 3つのかずのたしざん、ひきざん	
◆単元の目標と評価規準	
○3口の数の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】	
・3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>	
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	
・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

12 たしざん	
◆単元の目標と評価規準	
○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	
・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。<知・技>	
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	
・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

13 ひきざん	
◆単元の目標と評価規準	
○十何一1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	
・十何一1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。<知・技>	
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	
・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

■ どこにあるかな

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 3 5		①2方向からもものの位置を表すことができる。	・ロッカーのイラストを見て、下から○番め、左から○番めのように、2方向からもものの位置を表す。	・上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からのものの位置を表すことができる。	

14 くらべかた		
◆単元の目標と評価規準		
○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】		
	・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを	
	・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。<思・判・表>	
	・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

■ **さんすうでふゆじたく**

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 4 8 9		①20までの数の順序、系列、加法、減法の計算に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・20までの数で、すぐろくをする。 ・加法、減法の練習問題に取り組む。 ・「けいさんしりとり」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。 	

15 大きなかず	
◆単元の目標と評価規準	
○2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】	
・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。<知・技>	
・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	
・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

16 なんじなんぷん	
◆単元の目標と評価規準	
○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	
・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>	
・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>	
・時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

■ おなじかずずつにわけよう

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 7 0		①1つの数を多面的にみて、同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、おはじきや式で表すことができる。	・12個のおはじきを2個ずつに分けたり、2人で同じ数ずつに分けたりして、それらを式に表す。	・おはじきを同じ数ずつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。	・1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。

17 どんなしきになるかな	
◆単元の目標と評価規準	
○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)イ、A(2)イ(ア)】	
・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>	
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	
・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

18 かたちづくり	
◆単元の目標と評価規準	
○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)イ、B(1)イ(ア)】	
・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>	
・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>	
・身のまわりにあるもの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>	

◎ 1年のまとめ

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 8 4 (①②③第1学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、測定、データの活用についての問題に取り組む。	・第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	

1 8 6	[大きなかずのたしざん]*	・34+20の答えの求め方を考える。
	[1から9までたすと]	・1から9までの和を工夫して求める。

■ プログラミングにちょうせん「めざせ！ にんじん」

頁	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	
1 8 7	・「□すすむ」「□もどる」のカードを組み合わせて、うさぎが10のところまで進むプログラムを考える。また、ゴールの数を変えた場合のプログラムも考える。 ★プログラミング教材「めざせ！ にんじん」を使って活動する。	

■ もののかずのかぞえかた

頁	学習活動	
1 8 8	・いろいろなものを数えるときの助数詞について知る。	